

「1950年代教育史」研究部会（第51回）

日時：2021年1月29日（金）13:00～

場所：オンライン（Zoom使用）

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 兼任研究員
吉久知延所長・金沢千秋・山口和人・川上智子

内容：（1）大島宏研究員：「第2節山梨県における定時制分校の状況」

◆担当章 「第2節（2）生徒の状況」の原稿検討

- ・定時制生徒数、定時制課程入学者数の変遷

1948年発足 53年にピークを迎え、62年まで漸減していく

男子の減少がはげしく、さらに定時制課程設置の高校の減少も影響か

- ・具体例：峡北高等学校増富分校（もう1校分析の予定）

増富分校：農業課程（男子）・農村家庭課程（女子）の2つを維持

親はほとんど兼業農家・平均よりは低所得

調査では地域の親の教育への意識は高い（生徒自身の調査資料はみつからず）

進学は一部の履修科目が目的で卒業ではない場合も 教養のため？

（今後）高校卒業後の就職状況も見ろべき？

原稿の進め方を時期区分にしたい（発足期・50年代前半・50年代後半 3期に分ける）

（2）西山伸研究員：「1950年代における大学管理をめぐって（10）—『京都大学大学文書館研究紀要』掲載論文について—」

- ◆担当章 第2節「国立大学管理法案の作成」の原稿分量が多くなったため、詳細については別途論文を作成し、野間研の紀要は概要紹介をする形ですすめたい

論文掲載予定：勤務先の京都大学大学文書館発行『京都大学大学文書館紀要』

（上）第19号（2021年3月発行）・（下）第20号（2022年発行）

- ・第19号に掲載予定「国立大学管理法案の起草経緯（上）—「大学管理法要綱試案」の作成まで—」の内容紹介

（3）紀要原稿の締め切りについて

2021年度内の刊行をめざし、各原稿の締め切りは9月末とすることを確認

- ・次回研究会は 2021年2月26日（金）13:00～ 須田研究員・米田研究員の発表
次々回は 2021年3月26日（金）13:00～ 鳥居研究員・西山研究員予定